

ひだまり

谷浜小学校2年生

学年だより No.13

令和4年7月1日

同和教育の授業を行いました



「生きるI」というテキストから、「たかしさんのズボン」という資料を読み、同和教育の授業を行いました。

この話は、体育が終わって教室へ行くと、「てつおさん」が床に落ちている「たかしさん」のズボンを『ほこりだらけ。』と言って「ひろこさん」の机に投げます。「ひろこさん」も汚そうに拾って投げます。友達もとんできたら投げて、「たかしさん」をからかいます。さらに、それを見て



笑っている子、知らん顔をして本を読んでいる子、止めようと思いつつも、力の強い「てつおさん」がこわくて行動に移せない子などの見ているだけの友達の存在が、「たかしさん」をさらに傷つけます。

やがて、泣いている「たかしさん」のことを思い、たまらなくなって「ぼく」が、『やめなよ。』と叫びます。「ぼく」が勇気を出して止めたことにより、いじめが解決をしていくという内容です。

まず、ズボンを投げられてからかわれている「たかしさん」の気持ちを考えました。(□は、児童の考えです。)

みんなやめてよ。ぼくのズボン、どこかきたないの。

せっかく買ってもらったたいせつなズボンなのに。

しらんかおしている人がいるから、なきそう。

次に、見ているだけの人について、おかしいと思うことを発表しました。

何も言わないのはおかしい。

ズボンをなげていなくても、わらっているのはいじめているのと同じ。

「たかしさん」の気持ちを考えていない。



見ているだけの友達の態度が、より「たかしさん」を辛い思いにさせると考えることができました。そのため、見ている人もいじめているのと同じであると考えました。

そして、「ぼく」が『やめなよ。』と言えたのはどうしてかを考えました。

たかしさんがかわいそうで、
てつおさんにおこられるかもし
れないけど、がまんができな
かった。

たかしさんの気持ちを考えて、いじ
められるたかしさんが、すごくなしそ
うだったから。

はじめは言うじしんがなかったけ
ど、がんばって言った。

この学習を通して子供たちは、「いじめられている人がいたら、助ける。」「友達と助け合い、仲良くする。」「友達に優しくして、自分が行動しないといけない。」「よくないことをするように言われても、やらない。」と思うようになりました。一生懸命「たかしさん」の気持ちや自分がその場にいたらどうしたらよいか、ということを考えていました。

今後も、いじめを見て見ぬふりをするのではなく、いじめをなくしていくために、自分で行動しようとする態度を育てていきたいと思います。

ご家庭でも、この便りの内容を話題にさせていただき、お子さんと一緒に考える時間を作っていたいただければ幸いです。



野菜の長さとは？

算数「長さ」で、ものの長さを測る学習をしました。教室にあるものだけではなく、育てている野菜の葉や茎の長さをものさしで測ったり、「はっ見（観察）カード」にかいたりしています。収穫できた野菜の実の長さも、嬉しそうに測っていました。学習だけではなく、普段の生活の中で様々なものの長さを測ることで、より理解を深めていくことができるようにしたいと思います。

また、育てている野菜も実を付けるようになってきました。おうちに持ち帰るためのビニール袋等をランドセルの小さいポケットに数枚入れてください。汚れた衣服を持ち帰る時にも、使用します。使用したら、補充をお願いいたします。よろしく願いいたします。



～お知らせとお願い～

音読集「おがわ」をお配りしました。教室用ですので、記名はしないでください。音読の練習に使用します。自学として、音読をしたり、ノートに写したりすることにも使ってよいこととします。音読集は、毎日学校に持ってきます。